

令和6年度事業報告

概要

令和6年度は、国では農政の憲法とも言われる「食料・農業・農村基本法」が25年ぶりに改正され、国民一人一人の「食料安全保障」を柱として基本理念が見直されました。また、角田市においては将来の農地利用の姿を明確化した「角田市地域農業経営基盤強化促進計画（地域計画）」が策定されるなど、これからの農業を考えるうえで、大きな意味合いを持つ年となりました。

そのような情勢の中、当角田市農業振興公社は、重点目標とした新規就農者の確保に力を入れ、担い手となり得る人材の確保を図るとともに農業の基盤である農地の集積・集約化を促進するための利用集積促進事業を進めたほか、農業経営改善支援や人材育成、都市消費者等交流など角田市農業の発展を目指した各事業を展開しました。

地域農業戦略の調査・研究及びシンクタンク機能に関する事業では、「食料・農業・農村基本法」の改正によるこれからの農政の動向に対応すべく、公社顧問である荒川隆氏を講師とした農政講演会を実施しました。また、農業振興公社だよりの発行、ホームページ、SNSにより公社の各事業や角田市農業の魅力を発信しました。

農地の利用集積促進関係では、平成26年度から引き続き、宮城県農地中間管理機構であるみやぎ農業振興公社と業務委託契約を締結し、農地中間管理事業を主体に活動しました。また、令和6年度は「角田市地域農業経営基盤強化促進計画（地域計画）」が農業経営基盤強化促進法に基づき策定されましたが、公社も角田市地域農業経営基盤強化促進計画策定協議会や地域の契约会などの場に積極的に参画し、農地の利用集積の推進に努めました。

農業経営改善支援事業及び農業人材育成事業では、新規就農者の確保から担い手育成、経営体の経営改善まで幅広い事業を展開しました。重点目標に設定している新規就農者の確保に関しては、「道の駅かくだ」や「夢メッセみやぎ」「東京ビッグサイト」など、市内外での新規就農相談会の開催とあぶくま農学校事業「土の塾」によるネギづくりの現場体験により就農に興味のある人材の掘起しを行いました。また、離農した方の農地や施設、機械等を次の就農者へと引き継ぐための第三者承継や農業の振興に関する活動を行う地域おこし協力隊員の活動及び就農を支援し、新規就農者の確保に繋げることができました。

その他、角田市農業経営者会議や角田市農業青色申告会と連携した各種研修会や視察等を実施するとともに農業経営改善計画の作成支援、青色申告の推進活動などを行い、角田市農業者の育成や経営改善にも寄与しました。

農産物の販売戦略の調査・研究に関する事業では、「特別会員事業」により市内で生産された旬の農産物を目黒区などの特別会員向けに販売し、農産物のPRに努めました。また、あぶくま農学校「農業経営実践塾」では、公社会員が「目黒区商工まつり」に参加し、自身で生産した農産物等をブース販売することで、接客による実践の中で顧客のニーズなどを学びました。

都市消費者等交流事業では、友好都市である目黒区との結びつきを考慮し、目黒区との交流を重点的に取り組んできました。市内3地区で目黒区小学生達を受入れ、田植え・稲刈り体験を通じた交流を行いました。また、目黒区での「自由が丘女神まつり」「大岡山西住区販売イベント」等で角田の農産物を紹介・販売したほか、「みどりの交流事業」として8種類の苗木を目黒区に供給しました。

以上、令和6年度の主な事業活動の概要についてご報告いたしました。このほか、計画に基づき実施した各事業の詳細は以下のとおりです。

1. 地域農業戦略の調査・研究及びシンクタンク機能に関する事業

【地域農業戦略の調査・研究】

自立農業者の育成、ブランド構築のための活動を支援した。

■自立した農業経営体の育成とあぶくま農学校ブランドづくりの展開

自立した農業経営者の育成には、マーケティングを踏まえた顧客志向の農業経営を展開することが必要であるとの視点から事業展開を行いました。また、消費者からの評価を高め信頼を得るため「あぶくま農学校ブランド」農畜産物の販売やPRを行いました。（後述5の事業を参照）（ブランド認定使用者は現在25名）

【シンクタンク機能に関する事業】

「食料・農業・農村基本法」の改正による今後の農政の動向を考えていくべく、公社顧問である一般財団法人食品産業センター理事長の荒川隆氏を講師とし、「農政講演会」を開催しました。

また、今後の角田市農業を維持するため、県や角田市、農協などの関係団体と連携し新規就農者の確保や対応について検討いたしました。

その他、ホームページやSNS等を用いて、公社事業の状況や角田の農畜産物の情報を発信しました。

■農政講演会の開催 演題：「食料・農業・農村基本法の改正と今後の農政について」

講師：荒川隆（角田市農業振興公社顧問、一般財団法人食品産業センター理事長）

日時、場所：令和6年12月7日（土）角田自治センター

参加者66名

■ホームページの更新及びSNSの状況

公社事業や角田市の農業の情報発信のため、掲載内容を逐次更新し、公社会員、消費者等に広くアピールしました。（HP：令和6年4月～令和7年3月のアクセス数 45,603PV、1日平均125件）

参考：前年度 31,967PV、1日平均 87件

■農業振興公社だよりの発行

令和6年度は2回発行し、公社事業の実施状況やお知らせ等の情報提供に努めた。

① 第51号（令和6年7月1日発行） ②第52号（令和7年1月1日発行）

2. 農地の利用集積促進に関する事業

担い手農家や農業法人の規模拡大、農地の集団化等を円滑に進めるため、農地利用最適化推進委員（14名）と連携を図りながら、利用調整や集積促進を行った。

■公社流動化担当者の活動

【農地集積に関する取扱い件数状況】

単位：件

事業	件数 合計	内 訳			
		新規	再設定	解約	変更
円滑化事業	70	—	—	70	0
中間管理事業	529	422	0	69	38
計	599	422	0	139	38

■農地利用集積円滑化事業

【参考：年次別面積（純増分）の推移】

年 次	年次別面積	累計面積	備 考
平成 12 年度	140ha	140ha	合理化法人資格取得
13 年度	89ha	229ha	
14 年度	71ha	300ha	
15 年度	65ha	365ha	
16 年度	56ha	421ha	
17 年度	76ha	497ha	
18 年度	121ha	618ha	
19 年度	77ha	695ha	
20 年度	172ha	867ha	
21 年度	24ha	891ha	
22 年度	13ha	904ha	農地利用集積円滑化団体承認
23 年度	59ha	964ha	
24 年度	68ha	1,032ha	
25 年度	76ha	1,109ha	
26 年度	39ha	1,148ha	農地中間管理事業業務受託開始
27 年度	12ha	1,160ha	
28 年度	49ha	1,209ha	
29 年度	36ha	1,245ha	
30 年度	△91ha	1,154ha	西根担い手農地中間管理事業への変更
31 年度	△16ha	1,138ha	農地利用集積円滑化事業 2.3.31 終了
令和 2 年度	△143ha	995ha	
3 年度	△223ha	772ha	枝野地区農地中間管理事業へ一括承継
4 年度	△169ha	603ha	
5 年度	△112ha	491ha	
6 年度	△158ha	333ha	

■農地中間管理事業

宮城県農地中間管理機構（公益社団法人みやぎ農業振興公社）と平成 26 年度から業務委託契約を毎年締結し、農地の出し手の掘り起こし、受け手（担い手）とのマッチング、農地データ入力、手続きに係る各種書類の作成・整備等の業務を行った。

【農用地の賃貸借事業の令和 6 年度計画と実績】

区 分	機構借り入れ		機構貸し付け	
	件数	面積 (ha)	件数	面積 (ha)
計 画	500	300	500	300
実 績	422	184	422	184

※農用地利用集積計画（機構借り入れ）の年度内公告分で計上

【参考：年次別面積（純増分）の推移】

年 次	年次別面積	累計面積	備 考
平成 26 年度	64ha	64ha	
27 年度	132ha	196ha	
28 年度	88ha	284ha	
29 年度	36ha	320ha	
30 年度	149ha	469ha	
31 年度	46ha	515ha	
令和 2 年度	112ha	627ha	
3 年度	208ha	835ha	
4 年度	154ha	989ha	
5 年度	181ha	1,170ha	
6 年度	184ha	1,354ha	

【参考：公社の仲介面積内訳（令和 7 年 3 月末現在）】

事 業 名	面 積	うち田	うち畑
農地利用集積円滑化事業	333ha	318ha	15ha
農 地 中 間 管 理 事 業	1,354ha	1,294ha	60ha
合 計	1,687ha	1,612ha	75ha

【参考：担い手の農地利用集積状況（令和 7 年 3 月末現在）】

単位：ha

担い手の区分	経営体数	計			
			自己所有	借入地	特定農作業受託
認定農業者	164	2,303.96	453.25	1,753.09	97.62
他市町認定農業者	6	4.67	3.53	1.14	0
認定新規就農者	7	59.64	17.82	41.53	0.29
基本構想水準到達者	65	172.44	104.86	67.40	0.18
集落営農組織	5	129.37	0	0	129.37
計	247	2,670.08	579.46	1,863.16	227.46

※認定新規就農者：基盤法第 14 条の 4 第 1 項に基づき、市町村から青年等就農計画の認定を受けた経営体

※基本構想水準到達者：農業経営改善計画の終期を迎えた認定農業者のうち、再認定を受けなかった

ものの、従前の経営面積を維持又は拡大している経営体

※集落営農組織：複数の農業者より構成される農作業受託組織であって、組織の規約を定め、対象作物の生産、販売について共同販売経理を行っている任意組織

担い手への集積率

角田市 耕地面積	令和5年度末 集積面積	集積率	令和6年度末 集積面積	集積率
4,410ha	2,462ha	58.8%	2,670ha	64.3%

○平成29年度までは、角田市独自の「認定農業者等への利用集積状況」を掲載していたが、平成30年度からは国が全国的に集計している「担い手の農地集積状況調査」を掲載している。

○角田市耕地面積は、農林水産省統計の令和6年の数字である。

3. 農業経営改善支援事業

角田市基本構想に掲げる農業経営体の育成を図るため、農業経営の相談活動、経営改善計画書の作成支援、認定農業者の経営改善を支援した。

また、簿記記帳の推進を図り、青色申告への移行を推進したほか、令和6年の定額減税及び中小企業投資促進税制に関する正しい知識の習得を目的に、角田市青色申告会員向けに「定額減税と中小企業投資促進税制」に関する講習会を実施した。

■経営改善活動実績

区 分	実 績			
	回数等	開催年月日	参加数	内 容
経営改善計画認定制度 説明・認定更新	戸別訪問等	6.4.1～7.3.31	34人	認定農業者掘り起こし・経営相談等
パソコン農業簿記例会	20回	6.11.5～7.2.13	延べ156人	農業青色申告会 (56人)
新規就農者支援活動	46件	6.4.1～7.3.31	46人	就農相談、青年等就農 計画作成相談等

■経営改善相談

相 談 内 容	新規就農	税 務	金 融	認 定 制 度	労 務 管 理	社 会 保 険	その他
件 数	46	156	0	34	0	0	0
対 応 方 法	就農に関する相談	税制度の案内	制度資金案内	認定相談案内等	問題点の把握	問題点の把握	パソコン等

■農業経営改善推進会議の開催

- ・令和6年 7月2日 農業経営改善計画の審査 再認定 1件 計画変更 1件
- ・令和6年11月7日 農業経営改善計画の審査 再認定 4件 計画変更 1件
- ・令和7年1月15日 農業経営改善計画の審査 再認定14件 計画変更 1件 経営移譲 1件
- ・令和7年2月21日 農業経営改善計画の審査 新規 1件 再認定 4件 計画変更 3件
移譲 1件 青年等 2件
- ・書面議決（令和6年12月） 農業経営改善計画の審査 計画変更 1件
- ・書面議決（令和7年3月） 農業経営改善計画の審査 計画変更 1件

【参考：認定農業者の状況】

- ・令和6年度末の認定農業者177人（県認定、青年等含む）
内訳：個人154人（男149人・女5人）、法人21、共同2
うち県認定：9件（男5人）、法人4

■角田市農業経営者会議活動の連携・支援

角田市農業経営者会議の主催で開催した次の事業を支援した。

- ・市長との農政懇談会：令和7年1月27日(月) 仙南シンケンファクトリーセミナールーム
- ・先進地視察：令和7年2月26日(水)～27日(木)
研修先：古川農業試験場、株式会社舞台ファーム
- ・担い手農家交流会：令和6年8月3日(土) 仙南シンケンファクトリー 27名

■農業青色申告会の支援

①相談及び指導

- ・期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日
- ・回数：例会20回
- ・内容：データ年度更新・入力・決算処理、税務研修会、e-Tax 代理送信(所得税・消費税) 申告
- ・参加人員：例会156人
- ・税理士代理送信56人・個人送信0人・計56人(会員家族19名分含む)

②簿記ソフト購入支援

令和6年度の簿記ソフトの購入者1名

- ・購入助成1名 26,400円(対象簿記ソフト：ソリマチ農業簿記 Ver.12 52,800円)

■講習会の開催

内容：定額減税と中小企業投資促進税制に関する講習会

日時・場所：令和6年12月12日(木) 角田市農業振興公社 11名参加

4. 農業人材育成に関する事業

令和3年度から新規就農者の確保を公社の重点目標にしており、令和6年度は「道の駅かくだ」と共催で計3回、移住・就農相談会を開催しました。また、夢メッセみやぎで開催された「マイナビ農業FEST」、東京ビッグサイトで開催された「新・農業人フェア」にも参加し、角田市ブースにおいて就農相談を行うなど市内外で人材の掘起しを図りました。また、併せて離農などで活用されなくなった農地や機械等を新規就農者などに承継する、第三者承継事業も実施し新規就農者の確保に努めました。

あぶくま農学校関係では、「土の塾」で株式会社館島田ファーム Dero を研修場にネギの現場体験を計4日実施し2名の参加がありました。また、若手農業者の経営能力と経営者意識の向上を図るための「風の塾」では、みやぎ農業担い手サミットへの参加支援を行い、1名の参加がありました。

その他、地域おこし協力隊関連では、道の駅かくだとの共催で日本なしの現場体験及び「角田市なしまつり」を開催しました。

【新規就農者支援事業】

■新規就農者確保対策関係

- ・「移住・就農相談会」：令和6年 6月1日 道の駅かくだ 相談者5名
令和6年10月26日 道の駅かくだ 相談者2名
令和6年11月23日 道の駅かくだ 相談者2名
- ・「マイナビFEST」：令和6年 7月27日 夢メッセみやぎ 相談者11名
- ・「新・農業人フェア」：令和6年12月8日 東京ビッグサイト 相談者12名
- ・窓口相談：13名
- ・第三者承継支援事業 相談4件

■土の塾

令和7年1月18日～2月8日(計4日) 参加者2名

作物：ネギ 場所：株式会社館島田ファーム Dero

【農業人材育成に関する事業】

■若手農業者育成研修会（『風の塾』）

角田市農業経営者会議や角田地域担い手育成総合支援協議会と共催し、若手農業経営者らを対象として全国担い手サミット、みやぎ農業担い手サミットの参加案内を通知した。

- ・全国担い手サミット：令和7年1月22日（水）～23日（木） 佐賀県（不参加）
- ・みやぎ農業担い手サミット：令和7年3月12日（水） 仙台国際センター（1名）

■角田地域担い手育成総合支援協議会活動の連携・支援

角田地域担い手育成総合支援協議会が「元気のでるみやぎの担い手育成・確保交付金」を活用し、角田市農業経営者会議と共催で実施した諸事業（研修会、講演会）に対し、公社も連携し、支援を行った。

■角田市地域おこし協力隊員活動支援事業

令和4年1月1日から角田市地域おこし協力隊員に委嘱された「農業の振興に関する活動」を行う隊員を公社の非常勤職員として受け入れ、その活動を支援した。

- ・梨園再生チャレンジ（道の駅とのコラボ企画） 令和6年5月～9月 参加者のべ39名
- ・かくだ梨まつり 令和6年9月14日（土） 参加者 86名
- ・みやぎ INAKA ゼミ（県内大学生）との日本なしの振興活動 令和6年4月～9月

5. 農産物の販売戦略の調査・研究に関する事業

「あぶくま農学校ブランド」の確立と消費者からの信頼を得るため、特別会員事業やあぶくま農学校「農業経営実践塾」を通して市内の農産物・加工品の販売やPR、地域のイメージアップを図った。

また、地場産酒米の消費拡大を進める「地酒用地場産米消費拡大推進協議会」と連携し、角田産米を使用した地酒の普及活動を支援した。

■角田農業のサポーター（特別会員）の加入促進

令和6年度は12,000円（Aコース）7,000円（B、Cコース）5,000円（D～Gコース）を設定し募集を行った。

特別会員数 135口（前年度 142口）

【Aコース】46口 8月：梨

10月：ご飯のお供セット（新米（つや姫）5キロ、梅干し、ネギ彦くん、味噌）

11月：麦とろセット（新米（つや姫）5キロ、押し麦、長いも）

1月：角田産いちご（4パック）

【Bコース】17口 8月：梨

1月：いちご

【Cコース】34口 10月：牛肉500g又は400g、秘伝豆800g

【Dコース】8口 10月：ご飯のお供セット（新米（つや姫）5キロ、梅干し、ネギ彦くん、味噌）

【Eコース】5口 11月：麦とろセット（新米（つや姫）5キロ、押し麦、長いも、味噌）

【Fコース】24口 10月：新米セット（つや姫 5キロ、ひとめぼれ 5キロ）

【Gコース】1口 10月：カレーセット（つや姫 5キロ、かくだカレー）

・特別会員農産物出荷者会議

令和6年5月23日（木）、特別会員農産物出荷者会議を開催し、前年度の結果を報告するとともに、令和6年度の内容、特別会員事業のねらいや出荷基準及びチラシの作成等について話し合いを行った。

■あぶくま農学校「農業経営実践塾」（出前塾）

目黒区商工まつり：令和6年11月9日～10日 参加者6名

梅干し 外21品目 148,900円

■地場産酒米の消費拡大の支援

地場産酒米の消費拡大を進める「地酒用地場産米消費拡大推進協議会」の活動（蔵王酒造株式会社、株式会社新澤醸造店と連携したかくだ地酒の普及促進）を支援した。また、令和7年1月には、道の駅かくだにおいて「冬の日本酒フェス」を開催し、かくだ地酒の普及に寄与しました。

取り纏め数量：臥城2本組1セット … 77セット

しぼりたて生酒えんころ2本組1セット… 126セット

牟宇姫3本組1セット … 180セット

冬の日本酒フェス：令和7年1月18日（土） 道の駅かくだ

6. 都市消費者等交流事業

食農教育の一環としての農業体験活動や農業・農村に触れる機会の少ない都市消費者と地域の交流事業を支援し、参加者の農業・農村への理解と生産者との関係性向上を図った。

■金津小学校区・下目黒小学校農業体験交流（農業体験学習）

◎令和6年5月11日（土）：角田農業体験学習“春”

・参加児童等：金津小学校児童16名

：下目黒小学校児童18名 交流実行委員等7名

・主な内容：田植え体験、タケノコ掘り、あぶくま農学校入校式、田植え体験証明書授与式

◎令和6年10月5日（土）：角田農業体験学習“秋”

・参加児童等：金津小学校児童15名

：下目黒小学校児童17名 交流実行委員等17名

・主な内容：稲刈り体験、枝豆もぎ取り、稲刈り体験証明書授与式

・主な交流内容：田植え、稲刈り体験に加え、枝豆もぎ取りなどの農業体験を通じて、両学校間の児童の交流を行った。

■西根地区農業体験交流

◎令和6年6月1日（土）：角田農業体験学習“春”

・参加児童等：北郷小学校児童5名 北角田中学校生徒2名

：月光原小学校児童25名 交流実行委員等6名

・主な内容：田植え体験、あぶくま農学校入校式、田植え体験証明書授与式

◎令和6年9月28日（土）：角田農業体験学習“秋”

・参加児童等：北郷小学校児童及び北角田中学校生徒5名

：月光原小学校児童31名 交流実行委員等8名

・主な内容：稲刈り体験、稲刈り体験証明書授与式

・主な交流内容：月光原小学校児童を地元で受け入れ、田植え及び稲刈り体験会を実施し、地域交流を行った。

■目黒角田絆交流事業

◎令和6年5月25日（土）：角田農業体験学習“春”

・参加児童等：緑ヶ丘小学校児童15名 交流実行委員等20名 北郷小学校児童3名

・主な内容：田植え体験、あぶくま農学校入校式、田植え体験証明書授与式

◎令和6年10月5日（土）：角田農業体験学習“秋”

・参加児童等：北郷小学校児童2名

緑ヶ丘小学校児童16名 交流実行委員等21名 緑ヶ丘小学校長

・主な内容：稲刈り体験、稲刈り体験証明書授与式

・主な交流内容：緑ヶ丘小学校児童にJA青年部北郷支部が指導し田植え及び稲刈り体験を実施した。

■北郷小学校農業体験学習

◎令和6年5月22日(水)：角田農業体験学習“春”

- ・参加児童等：北郷小学校児童24名（5年生）
- ・主な内容：田植え体験、あぶくま農学校入校式

◎令和6年9月30日（月）：角田農業体験学習“秋”

- ・参加児童：北郷小学校児童24名（5年生）
- ・主な内容：稲刈り体験、あぶくま農学校稲刈り体験証明書授与式

■目黒区内の住区等のイベント

- ・大岡山西住区販売イベント：令和6年10月20日(日) 販売額 83,830円 16品目(物品のみ)
- ・自由が丘女神まつり：令和6年10月13・14日（日、祝）販売額 471,540円 27品目(物品のみ)
- ・月光原ふれあい雪まつり：令和7年2月8日（土） 販売額 76,750円 16品目(物品のみ)

■目黒区・角田市みどりの交流事業

目黒区がイベントなどの際に区民に配布する苗木1,248本を、9月から12月にかけて供給した。苗木は(公財)角田市地域振興公社で育成した。

ムクゲ：117本 アジサイ：40本 ウツギ：183本 キンモクセイ：38本

ドウダンツツジ：248本 ハギ：150本 ブルーベリー：400本 アベリア：72本

■東京科学大学留学生角田農村体験交流事業の支援

目黒区内にある東京科学大学より、留学生に日本の農村での滞在と交流を経験させたいと要望があり、市内農家宅でのホームステイ並びに地域交流等を支援した。ホームステイの受入れ団体は、「アジアの農民と手をつなぐ会」（伊藤稔代表）

期間：令和7年2月18日（火）～20日（木）

参加：生徒12名（内訳インド1名、マレーシア1名、中国1名外5か国から9名）引率者3名

7. 事務局を担う組織・団体等

下記組織の事務局を担当し、また、構成員として参画し、提案や提言を行った。

■事務局のある組織

角田市農業青色申告会、角田市農業経営者会議、角田地域担い手育成総合支援協議会、角田市地酒用地場産米消費拡大推進協議会（おらほの美酒を育てる会）

■構成員となっている組織

角田市農業再生協議会、角田市地域農業経営基盤強化促進計画策定協議会、角田ずんだまつり実行委員会